

# 平成29年 厄年・年祝・星厄等 一覧表

西野神社

生年		年齢 (数え年)	厄年		人生儀礼・年祝		八方・星厄 (男女共通)
元号	西暦		男性	女性	男性	女性	
平成29	2017	1			初宮詣		八方除 (一白水星)
平成27	2015	3			七五三		
平成26	2014	4					星厄 (四緑木星)
平成25	2013	5			七五三		
平成24	2012	6					星厄 (六白金星)
平成23	2011	7				七五三	星厄 (七赤金星)
平成20	2008	10					八方除 (一白水星)
平成17	2005	13	年男	年女	十三詣		星厄 (四緑木星)
平成15	2003	15					星厄 (六白金星)
平成14	2002	16					星厄 (七赤金星)
平成12	2000	18		前厄			
平成11	1999	19		本厄			八方除 (一白水星)
平成10	1998	20		後厄			
平成 8	1996	22					星厄 (四緑木星)
平成 6	1994	24	前厄				星厄 (六白金星)
平成 5	1993	25	本厄・年男	年女			星厄 (七赤金星)
平成 4	1992	26	後厄				
平成 2	1990	28					八方除 (一白水星)
昭和62	1987	31					星厄 (四緑木星)
昭和61	1986	32		前厄			
昭和60	1985	33		本厄 (大厄)			星厄 (六白金星)
昭和59	1984	34		後厄			星厄 (七赤金星)
昭和57	1982	36		前厄			
昭和56	1981	37	年男	本厄・年女			八方除 (一白水星)
昭和55	1980	38		後厄			
昭和53	1978	40					星厄 (四緑木星)
昭和52	1977	41	前厄				
昭和51	1976	42	本厄 (大厄)				星厄 (六白金星)
昭和50	1975	43	後厄				星厄 (七赤金星)
昭和47	1972	46					八方除 (一白水星)
昭和44	1969	49	年男	年女			星厄 (四緑木星)
昭和42	1967	51					星厄 (六白金星)
昭和41	1966	52					星厄 (七赤金星)
昭和38	1963	55					八方除 (一白水星)
昭和35	1960	58					星厄 (四緑木星)
昭和33	1958	60	前厄				星厄 (六白金星)
昭和32	1957	61	本厄・年男	年女	還暦		星厄 (七赤金星)
昭和31	1956	62	後厄				
昭和29	1954	64					八方除 (一白水星)
昭和26	1951	67					星厄 (四緑木星)
昭和24	1949	69					星厄 (六白金星)
昭和23	1948	70			古希		星厄 (七赤金星)
昭和20	1945	73	年男	年女			八方除 (一白水星)
昭和17	1942	76					星厄 (四緑木星)
昭和16	1941	77			喜寿		
昭和15	1940	78					星厄 (六白金星)
昭和14	1939	79					星厄 (七赤金星)
昭和13	1938	80			傘寿		
昭和12	1937	81			半寿		
昭和11	1936	82					八方除 (一白水星)
昭和 8	1933	85	年男	年女			星厄 (四緑木星)
昭和 6	1931	87					星厄 (六白金星)
昭和 5	1930	88			米寿		星厄 (七赤金星)
昭和 3	1928	90			卒寿		
昭和 2	1927	91					八方除 (一白水星)
大正13	1924	94					星厄 (四緑木星)
大正11	1922	96					星厄 (六白金星)
大正10	1921	97	年男	年女			星厄 (七赤金星)
大正 8	1919	99			白寿		
大正 7	1918	100			上寿 (百寿・紀寿)		八方除 (一白水星)
大正 4	1915	103					星厄 (四緑木星)
大正 2	1913	105					星厄 (六白金星)
明治45・大正元	1912	106					星厄 (七赤金星)
明治43	1910	108			茶寿		
明治42	1909	109	年男	年女			八方除 (一白水星)

## 【年齢について】

表中の年齢は、いずれも「数え年」です。現在世間一般で日常的に使われている「満年齢」とは異なりますので、御注意下さい。

数え年は、生まれた年を1歳とし、以降、正月を迎える毎に1歳ずつ加算していきます。具体的には、その年の誕生日を既に迎えている場合は満年齢に1を、その年の誕生日をまだ迎えていない場合は満年齢に2を加算すると、その方の数え年になります。

## 【厄年について】

厄年は、古来より**男性は25・42・61歳、女性は19・33・37歳が「本厄」とされており、その中でも特に、男性の42歳と女性の33歳は「大厄」とされています。**

また、本厄の前年の歳は「前厄」、本厄の翌年の歳は「後厄」といいます。

但し、何年生まれ(数え年の何歳)を厄年とするかについては、地域や社寺によって若干の差異があります。左の表はあくまでも西野神社に於ける一覧表であり、他所の社寺や団体等が作成している一覧表とは、内容が一部異なる場合もあります。

## 【人生儀礼・年祝について】

「初宮詣」は、男児は生後31日目、女児は生後33日目、もしくは、性別に関係無く生後100日前後に、祝い着を着てお参りをするのが一般的とされています。

しかし、赤ちゃんの身体はまだ抵抗力が弱いので、あまり日数に拘らず、赤ちゃんの体調が良い日、暖かい日や天気の良い日などを選んでお参りされると良いでしょう。

「七五三」のお参りは、全国的には、11月15日もしくは11月中に行うのが一般的ですが、北海道は全国よりも1ヶ月早く、10月15日もしくは10月中に行うのが一般的です。

七五三のお参りは、本来は数え年の年齢に合わせて行いますが、近年は、満年齢の7・5・3歳に合わせて行う事も増えています。

人生儀礼としては他にも、小学校入学時に行う「入学祝」(就学安全祈願)や、20歳になる年に行う「成人祝」(成人奉告)などがあります。

但し、入学祝と成人祝については、いずれも数え年ではなく年度(学年)が基準となるため、数え年が基準となっているこの表では記載を省略しました。

長寿の年祝については、表中では「茶寿」(108歳)まで記しましたが、それ以降も、「皇寿」(111歳)、「珍寿」(112歳)、「天寿」(118歳)、「大還暦」(121歳)と続きます。

## 【八方・星厄について】

運勢盤(九星方位吉凶表)で中央に位置する星の年は「八方ふさがり」といわれ、今年は「**一白水星**」の方がその年に該当します。

また、九曜星の巡りが運勢盤で、北東(表鬼門)、南西(裏鬼門)、北の向きに巡った年は星祭厄年(星厄)となり、今年は、「**四緑木星**」「**六白金星**」「**七赤金星**」の方が該当します。

但し、いずれの場合も、**節分までに生まれた方は、ひとつ前の年の九星となります**ので、御注意下さい。ちなみに、節分は、大抵は2月3日ですが、稀に2月4日の年もあるので、2月の2～5日頃に生まれた方は、その年の節分の日付を御自身で御確認下さい。